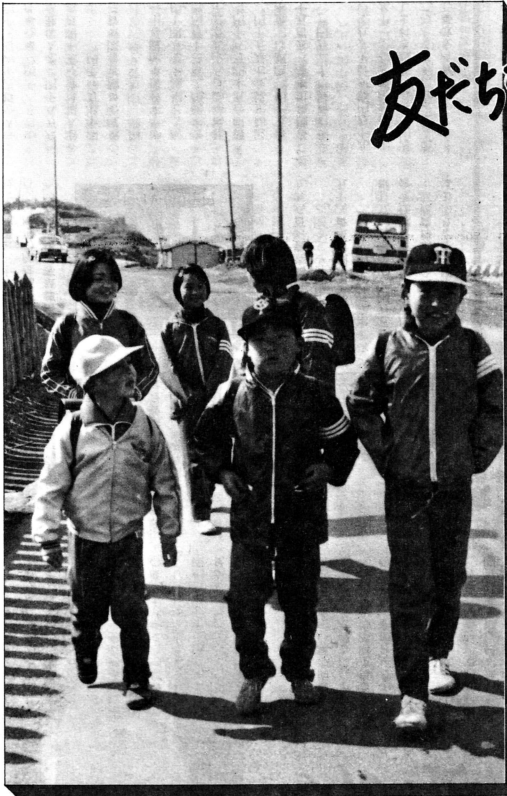


広報



しうら



友だちをつくらう

新入生、元気に通学

入学シーズンもひとまず過ぎてホッとひと息……。初めての学校生活で、めずらしさと期待感に胸をくくらせる一年生。慣れない集団生活に緊張しながらも、お兄

ちゃんたちにとけこみ元気で仲よく通学しています。新学期……。それは新しい友だちの出会いが芽生える時です。

昭和55年 **4**月号

村づくりを推進

55年度一般会計予算は

11億3千200万円



提案理由を説明する白川村長

提案理由

節減合理化に努め健全財政を

村長就任以来、明るく、豊かな活力のある村づくりのため、及びしい行政環境の中心で議員はじめ村民各位のご協力を戴き、教育施設、児童福祉施設、医療施設及び道路網の整備、簡易水道事業の拡張整備など生活基盤整備をはじめ畜産を主体とした農業基盤の整備を進めてきたところであり、今後さらにこれら事業を積極的に推進し、津軽北部地域における本村の位置づけを明確にしていく所存であります。

さて、わが国の経済は、内

こうしたことから、国の予算については、すでに承知

転作割当 五十五年度 合わせて九十八ヘクタール

わが村第一次産業の中心である稲作をめぐる情勢であります。わが国の米の需給バランスのくずれから昭和五十三年度を初年度として第一期三年間を固定して転作面積の割当、先渡限度数量の配分がなされてきたところであります。その中途年次において、国はさらに転作面積の改訂と

五カ年計画で公共育成牧場の建設

農業構造を従来の水田単作

型から畜産を積極的にとり入

のとおり、財政の国債依存体質を改善し、日本経済の着実な発展を維持することに最重要点を置き、公共事業、社会保険などを歳入全般にわたって徹底的な節減・合理化が行われ、この結果、国債費と地方交付税交付金を除いた一般歳入は五・一億増と、昭和三十一年以来の低水準となり、財政再建元年といわれる超緊縮型予算となったところであります。

一方、地方自治体の予算編成の指針となる昭和十五年地方財政計画も国の予算の基調と同様、前年度に比べ、七・三億の伸びに止り、昭和三十一年度の六・四億に次ぐ低率となりました。

特に本村財政にとって最大の関心事である地方交付税は、前年度比でわずかに五億の伸びであるのに加えて、地方債発行計画では九・七億減となり、とくに一般財源に乏しい本村にとって近年に類例を見ないきびしい財政環境となりました。

このため、新年度予算の編成は、難決を極め、一時は県下幾つかの町村でつた減額予算も止むなしとの判断すらあったところであり、活力のある村づくりのためには、必要最小限の建設投資は欠かさない判断、可能なかぎりの財源を確保することを前提に、かろうじて前年比一・九億増の総額十一億三千二百万円の予算を編成することになったものであります。

互助会にはかり、農家の協力を得て割当面積の消化は可能と見通しとなりましたが、現実の問題として農家所得の減少を穴埋めできる産業の開発が緊急課題となつて参りました。このようを見地から水田利用再編対策として一千万円余を計上しています。

この事業の特徴は、その規模の大ききとせながら、畜産関係者多年の念願でもあり、畜産関係者の活用を含むものとして画期的なものであります。

この事業は、五カ年計画で実施される予定であり、事業の内容は、草地百五十ヘクタ

明な豊かな活力ある



昭和五十五年度の歳入の主なもの、村税が七千三百四十四万円で、前年度に比較してわずかに十三・四割の伸びより見込めず、予算総額に対する割合も六・五割という状態であり、分担金・手数料等合せた自主財源の合計額をみても十割にも満たない額であり、当面の難いものである三割自治からはほど遠いものがあります。

また、村の財政の主流をなす地方交付税については、前年度比六・三割の伸びも見込めぬ六億三千五百三十四万円の予算計上となりました。村債については、本年度の地方債計画並びに予定事業の起債充当率やこれまでの実績等を勘案して、一億三千三百三十万円を計上し、国、県支出金等については、それぞれ歳出との関連により計上したものであります。

路九千円、雑用水一万円、障害物一万一千円、避難舎一艘、その他施設となっており総工費約六億五千万円となっております。

このうち県営で実施するもの五億三千万円、村が実施主体となつて施工する国営等附帯事業約一億二千万円でありますが、この外に全くの村単事業として草地造成用地の購入



経務費については、主として職員給与費や需用費等一般管理費を中心に、計上しておりますが、①五十四年度から実施している宿直代行業委託料として百二十五万五千円、②参議院議員選挙、海区漁業調整委員会委員選挙費合せて百九十四万三千円等が含まれております。

○広報発行費 二百五十九万円
 ○村史年表発行費 百八十万円
 ○交通安全対策費 二百二十

八四十六万、約七千万円、その他が予定されており、事業費総額は七億を超える巨大事業となる見込みです。

ただし、事業費総額は事業主体である県の予算に計上され、本村予算には地元負担金として二十二・五割が計上されるのみであり、五十五年度分としては、二千百万円を計上し、当該事業をスタート



一万五千円。みどりのおばさん三人分の人件費百三十三万円。交通安全駅伝大会三万円。安全標識、立看板十六万四千円。

○土地利用規制対策費 十五万六千円。
 ○指定統計調査費 百八十九千円。

消防防災行政無線施設は、村内の全域をカバーする同時無線システムであり、全村内に情報をくまなく伝達することがねらいであります。

したがって、これまで広報車や回覧方式で送られていた

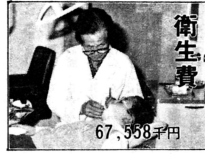
消防防災行政無線施設に約六千万円

○街灯新設 十万円。
 ○各種負担事業 五百五十八万五千円。内訳は、金木地区防犯協会七万五千円。精薄組合五十四万八千円。村社協補助百八十九万二千円。金木病院二百三十万円。心配ごと相談十七万四千円。赤十字救護車配置五十一万円。

○重度心身障害者医療費三百四十七万一千円。
 ○老人福祉費 二千四百六十二万六千円。老人保健学級八万八千円。老人保健学級一人分百二十六万三千円。

消防防災行政無線施設は、情報が必要スピードアップされるほか、火災、除雪などの防災体制ももちろん、農事情報の伝達も可能となるわけで、この費用として約六千万円計上いたしました。

○老人医療審査十八万二千円。敬老会助成四十五万五千円。老人クラブ補助五十六万円。特養ホーム二百三十九万四千円。村敬老年金百四十四万九千円。老人医療費一千五百八十一万二千円。
 ○児童福祉費、三百六十六万五千円。青少年協活動費二十二万四千円。母親クラブ二十万四千円。児童援護費十四万四千円。
 ○相内保育所費 三千四百八十三万六千円。
 ○協元保育所費 一千四百六十三万九千円。
 ○十三保育所費 一千九百九十九万六千円。
 ○へき地保育所費 三百四十九万八千円。
 ○児童館費、四百二十万九千九百円。



衛生費

67,538千円

住民への健康指導の充実と健康意識の高揚をはかるとともに、環境美化についてもその啓発を促進させたい考え方から、六千七百五十五万八千

円を計上しています。

- 保健衛生費、四千九百三十七万七千円。
- 予防費、四百五十五万五千円。
- 母子衛生費、百二十四万三千元。
- 環境衛生費、八十四万四千円。
- 清掃費、一千二百万円。
- 崖崩壊九十五万五千円。
- 木川堤防除草三十八万円。
- ごみ捨場覆土二十万円。
- み収集トラック二十万円。
- 防火線工事二十万円。
- 西北五衛生処理組合負担金六百四十二万五千円。



労働・商工費

6,702千円

- 失業対策費、三十八万一千円。
- 労働諸費、二百十七万七千円。
- 出稼地域相談員報酬七万円。
- 安全就労推進基金、留守家族懇談会等開催十
- 八万円。
- 出稼者事務所訪問十九万九千円。
- 出稼者健診七万五千円。
- 出稼組合助等五十五万円。

- 成二十六万円。
- 商工総務費、二百七十一万一千円。
- 商工金助成四十四万
- 円。
- 観光費、百四十三万二千円。
- 公衆便所、湖畔清掃委託料七万円。
- 公衆便所新設三十三万
- 円。
- 観光案内板八万円。
- 村観光協会負担金二十五万
- 五万円。



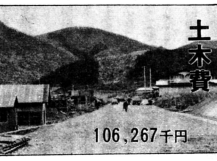
農林・水産費

138,170千円

農業については、その中心ともいうべき、水田利用再編対策と草地開発事業があげられますが、水産業として、さけ・ますふ化場の稚魚池土屋を建設することとし、あわび稚貝放流、鰻元漁港修築負担金も計上しています。

五十五万円、県営草地開発事業負担金一千三百二十七万五千円。

- 畜産費、四千六百四十九万九千円。
- 牧柵修理二百四十万一千円。
- 追肥一千二百四十万
- 円。
- その他、
- 水産業費、一千九百四十三万六千円。
- さけ・ますふ化管理委託料三百二十万
- 四千円。
- あわび稚貝放流七
- 万
- 円。
- ふ化場土屋建設事業費、一千五百
- 万
- 千
- 円。



土木費

106,267千円

- 水田利用再編対策費、九百六十四万二千円。
- 集団耕作等推進補助金四百五十万
- 円。
- 水田飼料作物作付推進肉用牛肥育兼牛導入四百
- 万
- 円。
- 草地開発事業費、三千七百三万二千
- 円。
- 自給飼料生産総合振興対策事業関係七
- 百
- 二十
- 万
- 六千
- 円。
- 国営等草地開発附帯事業関係七百
- 五
- 万
- 円。
- 公有財産購入七百
- 千
- 円
- 計上
- して
- い
- ま
- す。

道路整備を中心に予算を編成しましたが、本年は五路線の改良舗装に三千五百七十四万四千円計上したほか、除雪機械の購入に一千五百八十四万六千円、鰻元漁港改修事業負担金五百八十三万

- 円。
- 地積調査費として一千二百一十五
- 千
- 円
- 計上
- して
- い
- ま
- す。



消防費

124,421千円

消防費については、前年度

線改良一千六十六万四千円、田線改良七百六十六万円、下田線改良二百万円、吉野線改良八百万円、赤川二号



教育費

145,954千円

次代にならう青少年が健全に育成され、社会の一員として対応できることを願い、その人の能力開発等、教育文化の振興については、積極的に対策を講じていくこととする。そのため、学校教育については、教材、備品の整備充実をはかるとともに、施設の維持改善についても重点的な予算の配分を行つたほか、教員住宅については、建設事業費四百六十三万円を計上しました。また、社会教育費についても、人づくりの観点から

- 約六千一千万円計上いたしております。
- 小学校費、二千四百三十四万四千円。
- 相内小学校費六百一十
- 万
- 二千
- 円。
- 太田小学校費四百七十五万五千
- 円。
- 鰻元小学校費四百七十七万九千
- 円。
- 十三小学校費五百三十七
- 万
- 七千
- 円。
- 教育振興費、三百三十三万七千
- 円。
- 中学校費、五千七百九十九万
- 千
- 円。
- 高等学校費、三百九十五万
- 五
- 千
- 円
- 計上
- して
- い
- ま
- す。

特別

今回の定例議会で、55年度の特別会計予算も原案どおり可決されました。

特別会計とは、役場（地方公共団体）が特殊な目的のために行う事業の収入、支出を一般会計からきりはなして別個に運営するために設けられている会計です。

現在村には、簡易水道事業・国民健康保険事業・直営診療施設勘定・農業共済・財産区特別会計等があります。

会計

国保

千三百三十七万円に激増し、これからの医療費の動向が大いに危惧

本村の医療費は、昭和五十三年一月分から急増し、以来高値安定の状態でも推移してきました。さらに、五十三年度は高額療養費の支給額が前年五百五十万円に対し、二・六倍にものぼる

これまでは、年々国保加入者が減少していたもの、それを上回って医療費が伸び続けてきました。

保険税率を前年度なみに据え置き

これらの問題を解消するため、これまでいろいろと苦慮してきましたが、内科専門医師の確保だけはメドが付き、常勤させることができる状況となりました。

当初、四月一日から医師を招聘できる見通しで昭和五十五年予算を編成しましたが、相手側病院の都合で、医師の着任診療は少しかれることになっていました。

内科医師を常勤

昭和五十四年度は約千八百万円赤字が予想され、今年度末の累積赤字は、一億五千万七百万円程度に達するものと予測されています。

赤字の原因としてはなんと、村民の利用率が低いこと。医師が常駐していないため、患者と医師との対話、感情的な親近感に欠け、継続しづらく、利用率が十二・七％という低さです。

独立採算制で努力
従来の慢性的赤字を繰り返している経営状態であることから、一般会計からの繰り出しによるテコ入れも考えられますが、五十五年度の繰り出ますが、財政的助成は考えず独立採算制で努力することにしました。

しかし、老人医療受診率等が固定化し、横ばいの傾向を呈しており、昭和五十四年度の決算見込みから判断して、当初の見込みがしたまわった状況にあります。

このため、昭和五十一年度一般会計からの繰り入れを断つて以来、毎年引き上げざるを得なかった保険税を昭和五十五年度は初めて据え置いた。

主な歳入は
■入院収入一千八百万円を見込み、老人主体に常時十人位対処できる予算編成をすることができたわけです。

簡易水道
簡易水道特別会計でありませんが、村内各地域に給水され、その管理費を中心に、六千六百四十一万六千円を計上しました。

主な歳出は
■施設管理費 六千三百五十二万七千円（予算総額の約五十一・一％、前年度比では四百六十九万五千円の増額です）

■外來収入七千七百三十三万円
■薬料収入一千四百万円
■使用料、手数料、二十五万円
■事業勘定繰入金、五百万円

患者を取容したいと計画している。
■公債費 一千五百六十八万円

■老人主体に常時十人位
■公債費 一千五百六十八万円

■老人主体に常時十人位
■公債費 一千五百六十八万円

簡易水道

簡易水道特別会計でありませんが、村内各地域に給水され、その管理費を中心に、六千六百四十一万六千円を計上しました。

■老人主体に常時十人位
■公債費 一千五百六十八万円

■老人主体に常時十人位
■公債費 一千五百六十八万円

組織議会

議長小倉・副木村(義)の両議員

●各常任委員長もきまる



小倉 議長



木村副議長

新しい村議会議員が選ばれてから、初めての村議会(組合会)は、二月二十九日開か

―お年玉つき年賀はがき―

西田さん・宮崎さんが一等当選

(組内)

(十三)

今年のお年玉つき年賀はがきで、相内郵便局三和亭(推局長)から合わせて、一等



幸運を射止めた西田、秦さん(上)と宮崎さん(下)

また、各常任委員、広域行政組合議員をつぎのとおり決めました。
総務常任委員
▽委員長 成田義衛、副委員長 笹山七三郎、▽委員 小倉十三男、木村義光、小倉正勝、小倉正勝

また、各常任委員、広域行政組合議員をつぎのとおり決めました。
▽委員長 福井俊美、▽副委員長 島津典明、▽委員 秋田谷 納、工藤武則
▽西北五精神薄弱児施設組合議員 秋田谷 納
▽西北五衛生処理組合議員 奈良正勝
▽津軽北部消防事務組合議員 島津典明、工藤武則
▽津軽北部老人福祉事務組合議員 笹山七三郎、三和久

モダンな保育所が完成
56人でスタート
十二保育所
が築いても新たに完成し、四月八日からスタートしました。
保育所は、十三地区の中心部に建てられています。
内装仕上げは子供たちが喜びそうなマンガ、模様などを使用、保育室も南側に配置しており、明るく環境の整った立派なものです。
同保育所には現在五十六人の幼児が入所していますが、早くから完成が待たれていました。



写真 入所式を終え九十三保育所子供たちは仲よく元気に遊んでいる

交通事故防止

あなたの自覚だけが法のみです

新入学児童を 交通事故から守ろう

村民決起大会を開催

新入学児童を交通事故から守ろう——などをスローガンとした「春の全国交通安全運動」が四月六日から十日間実施されたが、運動期間の初日、基幹集落センターに約五十人の村民を集めて、交通事故防止市浦村民決起大会を開催しました。

はじめに、白川治三郎大会長が「昨年は交通事故による死亡者はゼロ。これは一人ひとりが努力してきた成果でも

ある。これからも、事故防止と安全運転に心がけ健康で明るく、楽しい家庭を築いてほしい」とあいさつ。

金木警察署の葛西正広交通係長からは、関係者への激励と最近の子供の交通事故の状況のべられました。

①最近のおとなは、安全というものに無関心である。
②幼児を持つ親が自動車を運転している母親がいる。
③自分では大丈夫だと思つて



約50人の村民を集めての決起大会。子供・母親の立場から、交通安全に対する決意表明もありました。

いるようだが、相手に衝突された場合とかわい子供の事をもう少し考えてほしい。

■魚・野菜・果物売りの車が来ると、走って行く母親子供を連れて行く別な物をねだられるから、泣くのをしかりつけて自分だけ走って行くようです。後を追いつて行くことびだす子供の事を考えてほしい。

■自転車の後に子供を乗せたまま店に入り、買い物物をしている母親。
子供も店の中に入りたいため、泣いたり、待たされてしまいい自転車から降りようとして、自動車にまきこまれる。というものです。私たちおとなは、安全というのに対して今一度考えてみる必要があります。

続いて、相内小学校児童会長長三和直利君が子供を代表し、臨元保育所母の会々長今満代さんが母親を代表して交通安全に対する決意表明をし、閉会しました。

決起大会終了後、集まった人たちが全員がそれぞれ車に分乗し、市浦管内をパレードして、交通安全を呼びかけました。

交通事故は恐しいナア 人形を使い衝撃テスト



交通事故の恐ろしさを知ってもらおう。

臨元小学校(青内武治校長)では四月十四日、校舎前に全校生徒を集めて、人が車にはねられたらどうなるか、人を人形を使って実験してみました。このダミー衝撃テストで行うのは、臨元小学校ではじめてです。

この日は、あいにくの雨にもかかわらず、全校生徒一三六人が集合し、キキーンと

という自動車のブレーキのきしる音とともに、ドスンと人形がはね飛ばされるさまは、本物そっくり。繰り返さず、子供テストを目の前にして、子供たちは顔をこぼらせず、交通事故の恐ろしさを十分味わった様子でした。

特に入学したばかりのピツカ、ピツカの一年生、十二人は、「オッカネエアー」と話していました。

(写真) ダミー衝撃テストで事故の恐ろしさを知る
臨小の子どもたち

役場の電話は
2111番です

おしらせ



出かせぎの みなさんへ

事故見舞金制度の

あることを知っていますか!!

★どんな制度

出かせぎされる方が安心して就労できるよう就労先で事故があったとき、または留守宅が火災にあったとき見舞金を給付する制度です。

★加入者

この制度は54年5月2日から発足、市浦管内では現在180名加入していますが加入したい方は、市浦役場(脇元・十三出張所)へ申し出てください。

★加入できるひと

1ヶ月以上1年未満居住地を離れて就労し、就労後は居住地に帰る人ならどなたでも加入できます。

★掛金

掛金は、年間1人 600円です。

★見舞金

種別	給付額	事故・災害の程度
死亡	50万円	勤務時間内に死亡したとき
見舞金	20万円	勤務時間外に死亡したとき
傷病見舞金	8万円	6ヶ月以上休業して治療を要するとき
	6万円	3ヶ月以上6ヶ月未満休業して治療を要するとき
傷病見舞金	5万円	1ヶ月以上3ヶ月未満休業して治療を要するとき
	20万円	不具療状により労働不能となったとき
火災見舞金	8万円	留守宅が手焼以上のとき
火災見舞金	3万円	就労先の宿舎が全焼したとき

診療時間の変更

—市浦診療所—

4月より常勤医師が着任する予定でしたが、6月中旬まで延期となりましたので、4月1日より当分の間下記により診療いたします。

なお、歯科の診療は今まで通りです。

記

1. 診療科名 内科を主とする一般診療。
2. 診療日 毎週月曜日、火曜日、水曜日、金曜日
3. 診療時間 午後1時から午後4時まで。
4. 医師 山本喜義先生。

西北地方福祉事務所の 組織・機構の一部改正

これまでは、一人の地区担当員が生活保護を中心に対象の各家庭を訪問してきました。

4月1日からは、一人の地区担当員が福祉六法(生活保護法、児童福祉法、母子福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、精神薄弱者福祉法など)全部についての援護、育成又は更生の措置に関する業務を取り扱うことになりました。

したがって、対象家庭のみなさんは、訪問した地区担当員に福祉六法全部について相談などができることになります。

くわしくは、役場や民生(児童)委員又は西北地方福祉事務所へ。

国民年金の特例納付は 6月末日で締切ります

現在実施されている国民年金の特例納付の締切りは、今年6月末日です。この制度は、国民年金に加入しなければならぬのに未加入の人や、加入しても保険料の納め忘れ期間があるために、年金の受給資格を失った人などについて、昭和53年7月から昭和55年6月末日までの2年間に限って、滞納保険料の納付を認め、年金権を復活させようという制度です。

特例納付額は、月4,000円です。

こども地籍調査をします

今年度の地籍調査は、字桂川、太田字山の井の一部(通称「学田」)地区で行うことになりました。

みなさんの土地の正しい位置、地形、地番、地目、面積などを明らかにする調査ですから、つぎのご協力をお願いします。

①隣地との境界がはっきりしないや測量ができないので、隣地の所有者とよく話しあいをして、境界を決め曲り角に杭(クイ)を打っておく。(杭は長さ1m、3cm角位の木杭又は永久杭を使用)

②雑木、雑草等の密生している境界線及びクイの周囲は、早目に刈り払いをし明らかにしておく。(刈り払い幅は2m位)

③自分の土地に所有者、地番、地目を標示したクイを打っておく。また、基準点で埋めたクイや境界グイは絶対動かさないようにしてください。

役場の 人事異動

人事異動

- ▼民生課長(企画室長) 葛西安十郎
- ▼企画室長 建設課 土木係長 竹谷博則
- ▼十三保倉所長(民生係長) 小倉銀一
- ▼民生課長(診療所事務長) 高橋精一
- ▼十三出張所長心得(総務課) 下山敏昭
- ▼白川出張所長心得(村山正臣)
- ▼診療所事務長心得(教委) 白川隆治
- ▼総務課長(総務課) 長利友子
- ▼総務課長(総務課) 長利勝雄
- ▼十三出張所主任保母(相内保育所) 高田正嗣
- ▼(教委) 山田春美
- ▼同(教委) 奈良ふみ子
- ▼民生課(経済課) 山田義正
- ▼同(民生課) 竹谷裕治
- ▼同(脇元出張所) 奈良典昭
- ▼相内保育所(総務課) 三上いづみ
- ▼教委(相内保育所) 三上チヨ子
- ▼同(戸石谷) 武子新探用
- ▼建設課 山田達彦
- ▼相内保育所 橋下三三
- ▼十三保倉所中島スミエ、三上久恵



津軽の先住民族

安東水軍 ⑨

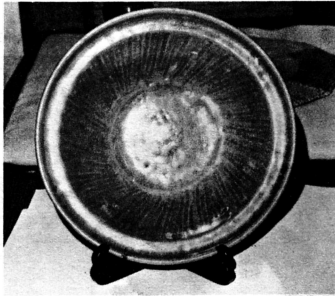
豊島勝蔵

島から須恵器
ざくざく



▷24◀

字十三の島(旧市街地)から、ざくざくと出土する薄黒色のカンカンした焼物



(写真)青森大田 文治二年(一六八)十三左衛門藤原秀元が宋国に渡航し、須恵器や乾海術を習得して帰港の際持ちこまれたと思われる青磁の甕(昭和五十一年四月十三出土)

須恵器(珠洲焼ともいう)は、いったいどこからその技法が伝えられたものであろうか。五世紀ごろた

さんの渡来人が大陸からやってきました。その中に焼物を作る部族もやってきました。その技法を伝えたことになっていきます。新羅焼ともいわれていますので、朝鮮国だとすぐわかります。山の斜面を利用して、温度千二百度ぐらいで焼かれ、祭器や日用品として使われました。推定年代一八〇〇〜一四〇〇年のものだと思います。十三安東船が百済、新羅、高麗とつねに交易をなした当時輸入されたものにちがひありません。

十三船館を築く

文治元年七月(一一八五)藤原姓を名乗った十三左衛門秀元(初代秀来の子、藤原姓代)が、彼の地に十三船館を築き、一年間に五

十往復もして貿易に力を注いだということです。承久四年(一二三二)十三藩に安佐氏が移り住むようになりましたけれども、朝鮮との通商にはなんの支障もなく、以前にも増して盛んに続けられました。

十三千坊の基固まる

朝鮮との通商が盛んになるにつれて、渡来する人たちが次第に多くなって、大陸文化が十三藩を通じて津軽一円に広まりました。中でも安東船に便乗して、中くさんの高僧が十三藩に渡り、津軽三千坊の十三千坊、特に今の山王坊十三宗寺は時ならぬ名僧高僧の来津によって、仏道ますますさかえ、朝夕の読経の声が人々の心を響かせ、やわらけてくれたことである。

朝鮮の通商港

三韓における要港としての元山浦や安東浦は、韓王が十三安東船にちなんで名づけられたともいわれています。仁川浦、釜山浦もともに安東船との通商の要港

だったそうです。また、青島浦でも交易をし、安東水軍の大船は主としてここで造られることが多かったようです。

支那国との
交易は古い

十三支那国との交易は古く、十三浦がまだ開かれてい以前から亡者者が続々として来て荒吐麻の祖となつたことは既に述べた通りです。だから、長輪彦、安日産の時代からも交易がなされていたとみられます。津軽における仏教の伝来、諸工芸の根源はみな、このたまものだと考えてきしつかえはありません。

秀元渡宋す

文治二年(一一八八)、十三左衛門藤原秀元がみずから宋国に渡航し、造船術や航海術を習得して帰港しました。瀬戸内の村上水軍、堀籠水軍も十三藩における造船術には及ばなかったといわれています。浜田昭彦君の畑土の青磁の皿は、この時持ちこまれたものではないでしょうか。

あの部分

擗け足取る...人の上げた足をとって倒すように、人の言葉尻をとらえてつけ込むことを言う。
赤えは黒...人が赤いと言えばそれに黒からって黒いと言う。とくく反対しがたる人のこと。
上げ膳、据え膳...食事のとき、お客の前にお膳を運び、いちいち給仕してもてなすこと。優遇すること。
上願ササ...手のごこしようのないさま。不器用なさま。
アケラボン...ばう然たるさまをいう。
願干す...貧乏で生活できないこと。飯が食えないという意。
朝起きは三文の徳...早起き奨励。
朝間のテカピカその日の雨だ...朝の天気は変わりやすいもの。
朝飯前...きわめて簡単なこと。朝食前にもできるという意。
明日ア明日の風吹く...あすのことにはあすの運命にまかせて、前かよくよくない。
明日はまた手付かず...あすという日はまだある。あわてることがない。

社 教

シリーズ

新しい

「コミュニケーション」を目指して

派遣社教主事 片山 永 繁

つきりした目的をもち、それ
を解決するために自分たちは
どうしたらよいかをみんな
考え実行する。一つが解決し
たらそれを土台にして、次の
ステップへと進む。そして新
しい地域をつくり出していく
のが「コミュニケーション」であ
り、平たく言えば、「コミュニテ
ィは新しい村づくりをしようと
する合言葉である。」
「コミュニケーション」は、地

域の人みんなが参加するので
なければならぬ。
役場の職員も、学校の先生も
住民の一人として参加して
らわねばならないし、参加す
べきでもある。

また、「ゆずり合」、「助け合
う」気持ちが大切である。
「自分の所だけでも」と議員
さん方に頼んで、役場に圧力
をかけてもらうのではなく、
「自分たちより条件の悪い所

となり肉となって、子供たち
は成長します。
同時に遊びを通して協力、
競争、同情、反感など人と人
とのさまざまなかわりを経
験しながら、子供は社会生活
へ

があつたら、どうぞそちらを
先に……。というくらい自制
心がなければ、コミュニテ
ィもかか声だけで終わる。
（コミュニティ中央研より）
最近では「役場で何してら
ば」と、すぐ行政に頼る傾
向がある。

役場だけに限らないで、みん
なが寄り集まって知恵と力を
出し合ひ、自分たちの地域を
もつと住みよくなるために活
動するのが、真のコミュニテ
ィづくりであらうと思う。
そのためには、一人一人が自
覚し、責任をもつて行動する
住民であることが大切な条件
ではないでしょうか。

することも大切でしょう。
そのためには、家庭を開放
するのもいいと思います。
して、自由に遊ばせることを
主眼におき、危険を伴わない
限りあまり干渉したり、指示
したり、制限したりしないよ
うにしたいものです。

少し汚したり、散らかした
りしても、それ以上に子供た
ちが遊ぶことの意味、大切さ
を考え、温かく見守ってあ
げると、必ずそのが賢明であ
らう。

四月は新学期、あらためて
子供遊びについて考えてみ
たいものです。

遊び 社会への適応性を身につける

子供にとって、遊びは生活
そのものといつてもいいでし
ょう。
遊びを通して体をきたえ、
言葉を覚え、数を数え、検
査を覚え、友だちと交わるこ
とによって対人関係のルールを
身につけていきます。



子供にとって遊びは、性格
形成をはじめ、心身の発達に
大きな影響をおよぼす。成長
の糧、といえます。
子供が遊んでいるのを見て
いると、仲よくしているかと

思えば、すぐけんかをはじ
めたりします。ときに泣き、
笑い、困り、そして争いを繰
り返しながら、自信に満ちあ
ふれぬかと思えば次の瞬間に
は隣つき……。こうした友だち
関係を通しての喜怒哀楽が血

への適応性を身につけていく
のです。
お母さんによっては、子供
が勉強していきなれば安心
するという方もおられるかも
しれません。一方で、積極
的に遊びの機会をつつてや

ることも大切でしょう。
そのためには、家庭を開放
するのもいいと思います。
して、自由に遊ばせることを
主眼におき、危険を伴わない
限りあまり干渉したり、指示
したり、制限したりしないよ
うにしたいものです。

少し汚したり、散らかした
りしても、それ以上に子供た
ちが遊ぶことの意味、大切さ
を考え、温かく見守ってあ
げると、必ずそのが賢明であ
らう。

四月は新学期、あらためて
子供遊びについて考えてみ
たいものです。

こころの窓

吉田 均さん長女（相内）
朝美ちゃん（10カ月）

太っているって...??
朝美もうすぐ1歳になるのに、歩
く練習してのの。トレーニングを
してスマートになるんだから。



戸籍の窓

お誕生

奈良 育恵（太田） 新 一
工藤 修司（脇元） 秀 行
石澤 松雄（脇元） 信 敏
吉田 沙緒菜（相内） 耕 三
三浦 和恵（相内） 賢 三
宮本 清登（相内） 良 三
菊池 真雄（磯松） 誠 淨
石岡麻紀子（脇元） 誠 淨

大澤 精一（中里）
武田 友子（太田）

成田 俊雄（相内） 62歳
山田 夕子（相内） 69歳
猪股 ミヨ（脇元） 80歳
三浦 妙子（相内） 53歳
三浦 熱（相内） 53歳
奈良 スケ（相内） 85歳
伊南惣三郎（磯松） 74歳
萬西 キク（脇元） 57歳
石岡 綾子（脇元） 1歳
三浦 京吉（相内） 76歳

近藤 道夫（山形）
伊南みどり（磯松）
笹引 弥（脇元）
仲 悦子（東京）
工藤 幹治（熊本）
松村 厚子（相内）
岡本 隆雄（相内）
三浦 雪子（相内）
小山内勝則（弘前）
中井 恵子（十三）

おくやみ